

2016年4月号 Vol. 47 (2016年4月1日発行)

せんしゆん



ISO9001:2008認証取得
日本医療機能評価 (Ver.6) 認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



写真提供：七岡内科医院 七岡 聖魏 先生
長岡京市 西山公園 西側遊歩道

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

平成29年 春 オープン(予定)

京都市 伏見区 に開設!

介護老人保健施設 桃山 (仮称)

京都市 伏見区 桃山 与五郎町 (京阪宇治線「桃山南口駅」徒歩5分)

京都市伏見区に「介護老人保健施設」を開設します。

芽吹きの中となり、歩を進める新年度が始まりました。

この度、千春会では平成29年春に、京都市内伏見区にて「介護老人保健施設 桃山 (仮称)」を開設する運びとなりましたことを、謹んで皆さまにご報告申し上げます。

これまで千春会グループ (医療法人千春会、社会福祉法人和楽会) は、乙訓地域 (長岡京市、向日市、大山崎町) 並びに京都府相楽郡和束町において、千春会病院をはじめとして、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、グループホーム並びに介護複合施設や入所、通所、訪問系の介護施設に加え、昨年度は「保育園」開設に着手するなど、地域に必要とされる数々の事業所を開設してまいりました。

また、平成23年より、長岡京市久貝にて運営しております「介護老人保健施設 春風」は、開設以来、高い在宅復帰率 (年間平均60~70%以上) を維持しており、リハビリに特化した「在宅強化型老健」として、その役割をしっかりと果たさせていただいております。

さて、この度開設予定の「介護老人保健施設」は、これまでに培ってまいりましたノウハウを活かした「在宅復帰支援施設」として、広く皆さまの在宅生活を支えてまいる所存です。

また、地域交流スペースなども配し、施設を利用される方々だけでなく、様々な世代の方が笑顔で集い合える「地域に開かれた施設」をも目指してまいります。

開設に向けましての進捗状況などは、今後も合わせてご報告させていただきます。

千春会グループは、法人理念に則り、皆さまがいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けていただけるよう、「より良質」を目指し、地域に貢献してまいりたいと存じます。

千春会グループ 医療法人社団 千春会 理事長 菊地 孝三
社会福祉法人 和楽会

平成29年 春 開設 (予定)

介護老人保健施設 桃山 (仮称)
外観イメージ

概要 (延べ床面積 5817㎡)

屋上 緑化庭園

4階 介護老人保健施設 50床

3階 介護老人保健施設 50床

2階 デイケア 定員100名
デイサービス 30名
ショートステイ 13床

1階 地域交流スペース



ご報告 1 千春会 新理事に 前長岡京市長 小田 豊氏 ご就任



前長岡京市長 小田 豊氏

この度、千春会理事といたしまして、昨年ご勇退されました前長岡京市長の小田 豊氏をお迎えすることとなりました。

小田氏は、これまで長岡京市長として「JR 長岡京駅前の再開発」「阪急西山天王山駅の新設」「今里長法寺線等の幹線道路の整備」並びに「京都第二外環道路の開通」といった長岡京市発展の要となった大事業を不断的な努力で成し遂げられ、さらに、この他にも数々の事業を手掛けられ、常に長岡京市の発展を願って、多大なるご功績を残して来られました。

このようなご功績をお持ちの小田氏を当法人の理事にお迎えすることができましたことは、千春会にとりまして大変名誉なことであり、今後は、さらに広く皆さまのお声を頂戴し、より一層、地域の方々のご要望にお応えすべく努めてまいりたいと存じます。

ご報告 2 ISOサーベイランス更新審査を受審 ISO9001:2008認証取得

今年度も病院はじめ各介護施設を含めた、全ての事業所が「社団法人 日本能率協会」のISO 更新審査を受審いたしました。

毎年、サーベイヤによる審査を受けることで、成果や取り組むべき項目などがより明確になります。

今年は、研修カードによる人材育成や医療と介護の勉強会による相互知識の向上、定期的な機能訓練に対するデータ収集などが評価されました。今後も「より良質」を目指し、さらなる努力で全体の向上に取り組んでまいります。



法人責任者との初回会議

お知らせ

子育て中の皆さまへ朗報！

小児科 クリニック

☎ (075) 958-6310

バンビオ1番館7F
(JR長岡京駅前)

ハイパーサーミアクリニック内



安心をサポートする小児科診療

平日受付 21時迄の夜間診療

月曜日～金曜日
(受付19時00分～21時00分)

土曜の午後診療
(受付13時30分～17時30分)

8月もお盆休みはありませんので、
一年を通じて安心です。



千春会では、子育て中の皆さまに安心していただけるよう、平日の夜診に加え、土曜日の午後も開院しています。

かかりつけの小児科が終了した後、夜間対応ができる京都市急病診療所が開始(21時～)するまでの間、お子さまの急病に対応できる小児科が少ない狭間の時間帯が生じます。このクリニックでは、そのような時間帯に診療時間を設定するなど、「子育て不安」の軽減に努めています。

第一日赤・第二日赤・京都鞍馬口医療センターなどの協力を得て、臨床経験豊富な小児科の先生方に診察を担当していただいております。

高度な医療が必要な場合は、基幹病院への救急受け入れ体制を整えています。

これからの医療・看護・介護の在り方を学ぶ

講演会 開催 慶應義塾大学大学院 田中 滋 名誉教授



講演中の田中教授

今後の医療・介護について、千春会では、地域においてどのようにあるべきかを予測し、実践していくために、さまざまな研修を重ねています。

今年も、慶應義塾大学大学院 田中 滋 名誉教授にお越しいただき、「地域医療構想と地域包括ケアシステム」と題して、ご講演いただきました。講演には、長岡京市長 中小路健吾氏はじめ、健康福祉部長 池田裕子氏、会計管理者(前健康福祉部長) 山田常雄氏にもご出席いただきました。

田中教授は、医療・介護における我国の政策に関わる提言をされるなど、幅広い見識をお持ちであり、地域包括ケアシステムの構築に向けた今後の取り組みについて、具体的な状況も含め、様々な角度から、わかりやすく解説していただきました。

まず、今後の高齢者人口の動態では、2025年以降も80歳以上の方の増加は続き、団塊ジュニアが高齢者となる2040年頃までは、高齢者数の増加は緩やかなカーブを描くと、統計データを基に示されました。

今後、医療・介護においては、さらなる機能分化は必要であり、これまでの「期待される機能(ストラクチャー)」から、今後は「果たしている機能(アウトカム)」が評価されなければならないなど、データマネジメントの重要性も含めご説明いただきました。

また、慢性期医療においては、医療ニーズ、介護ニーズ、生活ニーズを持つ人が存在しており、これまで「医療と介護」はあっても「医療と住宅」という形がなかった点を指摘され、今後目指すべき在宅医療とは、住まいも含め、病気と共存しながら「生活全般」を視野に、QOLの維持・向上を目指した「支える医療」であるべきと示していただきました。



長岡京市長 中小路健吾氏(右)と菊地理事長(左)

さらに、地域包括ケアシステムの構築に向けては、今後2~3年で各地域の中学校

区レベルで連携した関係性を構築し、8年後(2025年)に備えていかなばならないこと、多職種研修プログラムや看取りのマネジメントチーム、地域ケア会議なども想定すべきであるとの具体的な話もなされました。

今後、地域では、年齢構成データに基づき、医療圏ごとの必要病床や介護の在り方などの方向性を構築していく中において、自分たちの地域は、どのような供給体制をつくるのかを決定するため、各セクターはデータを含め互いに開示し、取り組んでいかなければならないとご説明いただきました。

「地域包括ケアシステム」とは、地域としての統合、地域の在り方を含めた「画期的な統合構想」であると示され、その重要性を再認識することができました。

その上で、中小路市長はじめ行政の方々に向けても、長岡京市でも「地域包括ケア推進課」などの推進部局を設置し、各市町村で地域包括ケアシステムを推進するののも一つの方法であるとのご提言もいただきました。

千春会は、2025年に向け、自主的な機能分化と連携を推進すべく、「地域医療構想調整会議」などを通じ、行政、基幹病院、医師会、地域との連携と関与を強化しており、田中教授が示してくださった方向性に合致したものとして、より明確に認識することができた有意義な研修会となりました。

これからも皆さまの在宅生活をしっかりサポートしていけるよう、「地域包括ケアシステムの構築」に尽力してまいります。

『介護老人保健施設』はリハビリを目的として概ね3か月を基本に入所して、ご自宅へ帰っていただくための施設です。

長岡京市にある「春風」では、入所してリハビリを行い在宅復帰を目指す「老健」以外に、ご自宅から通いながらリハビリを行い、在宅生活を支援する「デイケア」が併設されています。



そよ風 日常生活のリハビリ	あお空 午前・午後短時間	せせらぎ 認知症対応
------------------	-----------------	---------------



デイケアの目標は **卒業すること**

卒業までを
インタビュー

卒業
おめでとう！

退院直後など、機能が衰えた時期にリハビリに特化した施設を利用することで、その後のより良い在宅生活へとつなげることができます。
この3月、見事にデイケアを卒業された河原林さんにお話を伺いました。

河原林さんは退院後に、「デイケアあお空」へ。
次第に機能が向上すると共に、利用回数も週1回、月1回と減り、ついに3月「デイケア卒業」となられました！ 現在、ご自宅では階段も上がっておられ「日常生活がスムーズにこなせています」とのことです。



まさこ 河原林 優子 さま (78歳)

短時間デイケアで良かったです

「最初は歩くのに杖をつけており、午後からのデイケアに週3回通っていました。家にはないトレーニング機械があり、自転車やウォーキングなどいろいろな機械を使いましたが、私には合っていたので、とても楽しかったです。」

スタッフが教えてくれるので良かったです

「皆さんそれぞれ自分のペースがあって、その人に合わせて、スタッフに見てもらえます。『踵から着いて下さいね』とか、機械の使い方も細かいことを丁寧に教えてもらえるので、自分で勝手に使用したり、勝手に歩いているより、本当に良かったと思います。」

心のリハビリも

「『脳トレーニング』もあり、通っておられる方と友達になったり、グループで親しくなるのも楽しくて、値打ちがあるなあと思いました。友人と『あお空』でばったり会ったことも(笑)。バスの中も、桜の咲く頃は、話も弾んで遠足気分みたいでしたよ。短い間でしたが、本当に楽しくて、やめる時もスタッフの皆さんが『今の状態でいて下さいね』と優しく言って下さって。家でもデイケアを思い出して体操したり、できるだけ主人と、散歩もするようにしています。」

卒業された方の「デイケアを利用して良かったです」という言葉は、法人職員全員の励みになります。

歳時記
1

福知山市で谷中管理栄養士が講演
生活機能向上研修「食支援Part」
主催：京都府医師会

京都府医師会主催の「生活機能向上研修会」にて、谷中管理栄養士が「嚥下調整食とは？～経口維持のための食支援について～」を講演しました。



講演中の谷中管理栄養士

在宅療養される患者さんに、良質な在宅医療を提供するためには、チーム医療と多職種協働が重要です。

今回は、在宅での医療ケアの質に大きく関わる「食支援」についての研修。より良い生活の継続には、やはり口から食べることが大切です。

千春会では、お一人おひとりの状態をしっかり把握して、嚥む力や飲み込む力に合わせた食事の提供などで、口から食べることの継続を目指しています。

また、管理栄養士がご自宅へ伺う『訪問栄養指導』なども積極的に行い、相談を受けるなど適切な栄養管理ができるように、皆さまの在宅生活をサポートしています。

歳時記
2

シンポジストに山下作業療法士が登壇
「食支援を考える検討会」
主催：公益社団法人 京都府栄養士会

在宅生活を継続するためには、その方らしく過ごしていただける環境づくりや支援が必要です。



意見交換する山下主任(右端)

在宅生活においても、病院や施設のように多職種が専門性を活かし、連携してサービス提供を行うことが、質の高いケアやQOL(生活の質)の向上につながります。

討論会では、シンポジストとして歯科衛生士、言語聴覚士、作業療法士、管理栄養士がそれぞれの専門を通じて、食支援について話し合いました。千春会からは、リハビリ科主任の山下作業療法士が登壇し、皆さんと活発な意見交換がなされました。

リハビリとはラテン語で『再びふさわしいものにする』『人にとってふさわしい状態に戻す』という意味があります。千春会では、退院・退所後もご自宅に伺う『訪問リハビリ』などで継続してサポートしています。

歳時記
3

火事を出さない！
千春会病院 消防訓練

「絶対に火事を出さない」という認識を新たにするためにも、定期的な消防訓練は大切です。今回は1階自動販売機前から出火という想定で、多くの職員が消火活動や避難誘導に取り組みました。

消防署との連携や安全な誘導、適切な消火活動が出来たか、装置の不備がないかなど、訓練を通じて様々な視点で再確認することができました。

気づいた点はさらに改善し、日々の防災につなげてまいります。



真剣な訓練

華やかな八重桜と長岡京らしい竹の緑が美しい西山公園付近。やさしい春を迎え、そこそこに新しい息吹が満ちています。さて、千春会も、京都市での新施設開設に向け、今、一步を踏み出します。千春会は、どこにあっても変わらぬ「理念」を持ち、皆さまを支え続けてまいります。人の心に添う桜のように柔らかかに、真っ直ぐに伸びる青竹のように実直に…(弘)
(表紙) 元・乙訓医師会会長、
(写真) 監事歴任の七岡先生ご提供

編集後記

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL (075)954-2175 FAX (075)955-4615